

写

受理番号	陳情第3号
受理年月日	平成30年8月21日

陳 情 書

平成 30 年 8 月 21 日

二宮町立小中学校普通教室へのエアコン設置に関する陳情

二宮町議会議長

二見泰弘 殿

陳情者：二宮町緑が丘 3-9-1

小野寺 裕美



【陳情趣旨】

今年はニュースでも連日のように熱中症の話題が取り上げられるなど、酷暑日が続いています。

夏休み前、我が家では長男がお腹の不調を訴え、遅刻や早退をしました。病院に行きましたが目立った原因は見当たらず、最終的には暑さにより胃腸が弱ったことからくる不調という診断でした。当初うちの子だけが暑さに弱いと思っていましたが、周りのお子さんの学校での様子を聞くと「鼻血を出す児童が多い」「体調不良を訴え、保健室に行く児童が多い」など、たくさんのお子さんの体にも変調をきたしていることが見えてきました。

この暑さの中、重いランドセルを背負って長時間歩き続けるだけでも、相当体力は消耗しますが、たどり着いた学校がどこもかしこも暑ければ、涼むことも体温を下げることもままなりません。授業中も「頭がボーッとする」「扇風機が回っていても、暑くて集中できない」など、我が子のみならず、ほかの保護者も子どもたちから毎日のように聞かされているようです。

「昔も暑かった、今の子は弱すぎる」というかたもいらっしゃいます。しかし、地球温暖化が叫ばれる昨今、夏季の平均気温は 40 年前と比べて 1~2 度程度上昇し、真夏日（最高気温 30℃ 以上）と、特に猛暑日（最高気温 35℃ 以上）が著しく増加しています。「猛暑日」という言葉が正式な予報用語に採用されたのは 2007 年。小田原アメダスの記録によると、二宮近郊エリアでも 2008 年以降猛暑日の記録が増えています。（参照 1）また、町内でも連日のように高温注意報が発令され「室内でも冷房を適切に利用し、熱中症に対して十分な対策をとってください」とアナウンスが流れていますが、エアコンが設置されていない学校にいる子どもたちはどうすればよいのでしょうか。扇風機で熱中症対策をとっていたとする名古屋刑務所では 40 代の受刑者が亡くなるという事故もおきています（参照 2）。

そこで早急に各学校の普通教室にエアコンの設置をお願いいたします。現在学校内でエアコンが設置されているのは職員室や特別教室のみと聞いております。毎日子どもたちが学校生活を送っている普通教室にエアコンの設置を進め、授業へ集中できる環境を整えてください。

財政的に課題があるのは承知していますが、例えば「エアコンは短期のリースにしてメンテナンスも含めた契約にする」「今回設置されるエアコンは、将来的な学区再編成や公共施設再配置の際には老朽化したエアコンと代替える」などの工夫で長期的な費用を抑えることもできると思います。また、全国的にも大きな問題となっている今、国に対し、エアコン設置の財源を国から補助するよう二宮町議会から要望していただくことが必要だと考えております。

近隣の自治体の状況を見ますと、秦野市や中井町は小中学校の普通教室に 100% 設置されており、平塚市では小学校は今年の夏休み明けに 100% 設置、中学校は来年の夏休み明けまでに 100% 設置するそうです（中学校においては設置を早める可能性もあるとのこと）。普通教室に全く設置していないのは大磯町と二宮町のみです。住んでいる自治体によって学習環境に格差があってよいものなのでしょうか。

さて、この陳情が採択され、町が設置を決定しても実際にエアコンが稼働できるのは来年の夏以降になると思います。今すぐにでも熱中症による事故が発生する危険性は高いと思われますので「窓の外の日除けシェードなどで教室内に入る直射日光や熱を遮断する」「冷水器の設置などにより、水筒の中身の補充が学校でできるようにする」「水筒は廊下でなく各自机で保管し、授業中でも必要な時に給水できるよう周知する」など、応急処置的に取れる熱中症対策を考慮いただき、関係各所に意識を共有していただきたいです。

先日、町内中学校で、生徒の一人が救急搬送されたと聞きました。実際には熱中症ではなかったようですが、保護者の間では熱中症による救急搬送という形で話が広まっている様子も見受けられました。皆さんこの暑さで「ああ、ついに」という印象を持たれたのではないかと思います。「何か起こりうるかもしれない」という状況であれば、起こる前に対処をしていく事が必要不可欠だと思います。

よって以下を陳情いたします。

【陳情項目】

1. 町内の小中学校の普通教室に早急にエアコンを設置すること
2. エアコン設置までは、教室の温度を下げる工夫や、十分な水分の補給など、生徒児童が熱中症にならないための配慮を徹底すること
3. 二宮町議会から国へ、エアコン設置の財源に補助をするよう意見書を提出すること

（参照先）参照 1：小田原アメダス 28 度出現頻度 1995~2018

参照 2：朝日新聞 DIGITAL 2018 年 7 月 25 日記事